



湯沢と歩んだ協力隊の日々

皆さま、こんにちは。暑さの厳しい日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。湯沢市地域おこし協力隊の戴です。

早いもので、地域おこし協力隊としての活動も終盤を迎えました。現在は舞妓としての活動にも力を入れながら、湯沢の魅力や秋田の文化を国内外へ発信しています。

この三年間を振り返ると、本当に多くのかたがたとの出会いに支えられてきたと感じます。湯沢に來た当初は不安もありましたが、地域の皆さまが温かく迎えてくださり、さまざまな行事や活動に参加する中で、この土地の魅力を深く知ることができました。観光PR

地域おこし協力隊の活動報告

今回の担当



たい いう じょう
戴 于如 隊員
令和5年9月着任

詳しい活動情報ははこちらから

湯沢市地域おこし協力隊
Instagram



活動を通じて、自然や食文化、伝統芸能など、湯沢ならではの魅力を発信してきましたが、その発信をきっかけに母国・台湾の友人やフクロワが湯沢に興味を持ち、実際に何度も訪れてくれたことは、私にとって大きな喜びです。

また、地域のお祭りの舞台や湯沢文化祭などに参加する機会にも恵まれました。さらに、テレビや新聞などのメディアで活動を紹介していたこともあり、街で「テレビで見ましたよ」「頑張ってくださいね」と声をかけていただくたびに、大きな励みをいただいています。こうした温かい応援が、活動を続ける原動力となりました。

残された任期はわずかですが、湯沢で過ごした時間は私の人生にとってかけがえのない思い出です。そして今では、私自身がすっかり湯沢のファンになりました。協力隊の任期が終了した後も、このご縁を大切にしながら、自分のSNSで湯沢の素晴らしさを一人でも多くの方に伝え続けていきたいと思っています。

これまで支えてくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

功労・功績をたたえて



▲小原雄勝地域振興局長から高橋大輔さん（写真左）に勲記が伝達されました。

死亡叙勲 瑞宝章 光章

元湯沢市消防団副団長

故 高橋 克己 氏（享年69）

ご家族から

「体が悪くても表には出さない性格で、無理をしていたこともあった父ですが、このような光栄な章をいただき、長年の努力が報われたことを喜んでいいると思います」

昭和53年、皆瀬村消防団に入団。班長、部長、副団長、分団長を歴任。平成31年から退団される令和8年まで副団長を務められました。在任中は、任務の遂行はもとより、地域防災の充実に努め、また、消防団の訓練や災害現場においては指揮統率に当たり、地域住民の安心・安全と災害防止に貢献されました。

輝き

輝かしい活躍をされた方などを紹介します。

◆第43回 JAWA 全日本アームレスリング選手権大会 (6月14日)



ちば ひであき
千葉 英明さん

- ・男子レフトハンド 57kg級 **優勝**
- ・男子ライトハンド 57kg級 **優勝**

※千葉さんのインタビューを広報ゆざわ6月号27ページ「おらがひと」に掲載しています。ぜひご覧ください。

WEB限定

広報ゆざわ
Connect 別冊
「more Connect」

市ホームページと「マチイロ」で広報ゆざわ Connect別冊「more Connect（もあコネクト）」を公開していますので、ぜひご覧ください。

市ホームページ▶

